

救急科

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

○高度救命救急センター外来：救急搬送患者の初期対応をマスターします。

※具体的な研修内容と目標

1. ABCDアプローチにのっとり重症病態の把握ができる。
2. 胸部写真，心電図，採血結果等からキラーディーズの鑑別が出来る
3. 動脈血採血や血液ガス分析の解釈が出来る
4. 救急エコー（FAST，RUSHなど）が出来る
5. 適切な専門科へコンサルトが出来る
6. 中心静脈カテーテルや動脈圧ライン留置が出来る
7. 創傷処置や縫合が出来る

○集中治療部：敗血症，多発外傷，重症熱傷，ARDS，多臓器不全の管理を通して，一般診療にも必要な呼吸，循環，栄養管理の基本をマスターします。

※具体的な研修内容と目標

1. 動脈血ガス分析の解釈と人工呼吸器の設定が出来る
2. 各種モニター，エコーを駆使しての循環管理，輸液指示が出来る
3. 経腸栄養を中心とした栄養管理が出来る

【専門研修に向けて(希望者には！)】

重症患者対応の専門家への道を進んでもらいます。

○救急外来での初期対応：気管挿管，除細動，胸腔ドレナージ，緊急輸血等

○集中治療部での全身管理：人工呼吸器，循環管理，血液浄化療法等

【研修目標と評価】

一般目標

1. 日常診療で頻繁に遭遇する急性疾患・外傷患者に対して限られた時間内に適切に対応ができるように，入院患者の受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力（態度，技能，知識）を身につける。
2. 集中治療を要する患者に適切に対応ができるように，基本的な臨床能力（態度，技能，知識）を身につける。

行動目標

1. 迅速かつ的確に患者の重傷度評価ができる。
2. 優先順位に応じた蘇生，病態の安定化ができる。
3. 各専門医に適切に紹介ができる。
4. 集中治療専従医の立場で病態の説明ができる

チェックリスト《5段階評価》

知識：

1. 頭痛をきたす疾患の鑑別ができる。
2. 胸痛をきたす疾患の鑑別ができる。
3. 腹痛をきたす疾患の鑑別ができる。
4. 発熱をきたす疾患の鑑別ができる。
5. 痙攣をきたす疾患の鑑別ができる。
6. 意識障害をきたす疾患の鑑別ができる。
7. めまいをきたす疾患の鑑別ができる。
8. 視力障害をきたす疾患の鑑別ができる。
9. 嘔吐をきたす疾患の鑑別ができる。
10. 吐・下血をきたす疾患の鑑別ができる。
11. 下痢をきたす疾患の鑑別ができる。
12. 呼吸困難をきたす疾患の鑑別ができる。
13. 喘鳴をきたす疾患の鑑別ができる。
14. 喀血をきたす疾患の鑑別ができる。
15. 浮腫をきたす疾患の鑑別ができる。
16. 不整脈をきたす疾患の鑑別ができる。
17. 動悸をきたす疾患の鑑別ができる。
18. 血圧低下をきたす疾患の鑑別ができる。
19. 失神をきたす疾患の鑑別ができる。
20. ショックをきたす疾患の鑑別ができる。
21. 心肺停止に至る可能性の高い病態の危険性を発見できる。
22. 環境異常による病態の鑑別ができる。
23. 大腿骨頸部骨折を診断できる。
24. 骨格筋の外傷を診断できる。
25. 熱傷の重症度を診断できる。
26. ショックの診断・治療について説明ができる。
27. 急性呼吸不全の病態と診断・治療について説明ができる。
28. 意識障害の鑑別診断とそれぞれの治療について説明ができる。
29. 急性腎不全の病態と診断・治療について説明ができる。
30. 急性中毒の病態と診断・治療について説明ができる。
31. 急性血液浄化法の適応の判断について説明ができる。
32. 機械的人工呼吸療法の適応の判断について説明ができる。

技能：

1. 心肺蘇生（ACLS）ができる。
2. 中心静脈穿刺ができる。
3. 動脈穿刺ができる。
4. 胸腔穿刺ができる。

5. 心嚢穿刺ができる。
6. 胃管挿入ができる。
7. 緊急ペーシングができる。
8. 創傷処置ができる。
9. 人工呼吸器の初期設定が出来る。

詳しい検査をする能力：

1. 頭部，胸部，腹部のCT検査、MRI検査
2. 腹部超音波検査
3. 血液ガス分析
4. 心電計及びモニター装置によるバイタルサインの評価
5. 気管支鏡検査
6. 中毒物質検査

【方略】研修方法

1. 外来診療では，指導医監視のもとに自らが中心となって検査，診断，治療を行う。重症例では指導医の指示に従いチーム医療の一翼をになう。
2. 気管挿管，中心静脈路確保，胸腔ドレナージ，縫合処置などの処置を積極的に行う。
3. 緊急手術には，助手として参加する。
4. 病棟診療は，検査所見・画像所見をもとに，呼吸，循環管理を自ら立案し実行する。
5. 生命機能を補助する機器（機械的人工呼吸，経皮的心肺補助，血液浄化機器など）を適用する意義を理解し，実際に操作する。
6. 一般病棟に移動しても引き続き治療計画の立案・実践，転院調整，家族説明，診断書作成に参加する。
7. 外来患者，入院患者ともに朝のカンファレンスでプレゼンテーションを行う。

指導医

中永士師明，奥山 学，北村俊晴，平澤暢史，佐藤佳澄

救急部ホームページ：

http://www.hos.akita-u.ac.jp/departmentlist/emergency_medicine.html

救急部についてのご質問は，

奥山 学

e-mail：okuyamanabu@med.akita-u.ac.jp

TEL：018-884-6185， FAX：018-884-6450

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30	ICUカンファレンス	ICUカンファレンス	ICUカンファレンス	ICUカンファレンス	ICUカンファレンス
8:40	救急科カンファレンス	救急科カンファレンス	救急科カンファレンス	救急科カンファレンス	救急科カンファレンス
10:00	救急外来/病棟	救急外来/病棟	救急外来/病棟	救急外来/病棟	救急外来/病棟
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13:00	救急外来/病棟	救急外来/病棟	救急外来/病棟	救急外来/病棟	救急外来/病棟
17:00	終了	終了	終了	終了	終了

集中治療部

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

○集中治療部：敗血症，多発外傷，重症熱傷，ARDS，多臓器不全の管理を通して，一般診療にも必要な呼吸，循環，栄養管理の基本をマスターします。

※具体的な研修内容と目標

1. 動脈血ガス分析の解釈と人工呼吸器の設定が出来る
2. 各種モニター，エコーを駆使しての循環管理，輸液指示が出来る
3. 経腸栄養を中心とした栄養管理が出来る

【専門研修に向けて(希望者には！)】

重症患者対応の専門家への道を進んでもらいます。

○集中治療部での全身管理：人工呼吸器，循環管理，血液浄化療法等

【研修目標と評価】

一般目標

集中治療を要する患者に適切に対応ができるように，入院患者の受け持ちによって基本的な臨床能力（態度，技能，知識）を身につける。

行動目標

1. 迅速かつ的確に呼吸循環の病態の評価ができる。
2. 優先順位に応じた病態の安定化ができる。
3. 集中治療専従医の立場で，主治医に対し病態の説明ができる。
4. 患者に提供できる集中治療の限界を理解し，必要な終末期医療を提示できる。

チェックリスト《5段階評価》

知識：

1. 急性呼吸不全の病態と診断・治療について説明ができる。
2. 急性肝不全の病態と診断・治療について説明ができる。
3. 急性腎不全の病態と診断・治療について説明ができる。
4. 意識障害の鑑別診断とそれぞれの治療について説明ができる。
5. ショックの診断・治療について説明ができる。
6. 致死性不整脈について説明ができる。
7. 大量消化管出血の診断と治療について説明ができる。
8. 大量喀血の診断と治療について説明ができる。
9. 急性中毒の病態と診断・治療について説明ができる。
10. 急性血液浄化法の適応の判断について説明ができる。

- 1 1. 機械的人工呼吸療法の適応の判断について説明ができる。

技能：

1. 急性呼吸不全の診断と治療ができる。
2. 急性肝不全の診断と治療ができる。
3. 急性腎不全の診断と治療ができる。
4. 意識障害の診断と治療ができる。
5. ショックの診断と治療ができる。
6. 致死性不整脈の診断と治療ができる。
7. 大量消化管出血の診断と治療ができる。
8. 大量喀血の診断と治療ができる。
9. 急性中毒の診断と治療ができる。
- 1 0. 急性血液浄化法の適応の判断ができる。
- 1 1. 機械的人工呼吸療法の適応の判断ができる。

詳しい検査をする能力：

1. 血行動態測定
2. 血液ガス分析値
3. 心電計及びモニター装置によるバイタルサインの評価
4. 気管支鏡検査
5. 胸部・腹部のCT, MRI検査

指導医

中永士師明, 奥山 学

集中治療部ホームページ：

http://www.hos.akita-u.ac.jp/departmentlist/intensive_care_unit.html

集中治療部についてのご質問は,

奥山 学

e-mail : okuyamanabu@med.akita-u.ac.jp

TEL : 018-884-6185, FAX : 018-884-6450

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30	ICUカンファレンス	ICUカンファレンス	ICUカンファレンス	ICUカンファレンス	ICUカンファレンス
8:40	救急科カンファレンス	救急科カンファレンス	救急科カンファレンス	救急科カンファレンス	救急科カンファレンス
10:00	診療	診療	診療	診療	診療
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13:00	診療	診療	診療	診療	診療
17:00	当直業務	当直業務	当直業務	当直業務	当直業務